

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/1	50001	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMeticLifeScienceInc. Homepage.2004.8.3	PRDT社とMacoPharma社が選択的にプリオン蛋白を吸着するプリオン蛋白を吸着するプリオン除去フィルターを開発し、2005年に欧州で上市することを目標とする。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2004;364(9433):529-31	現在使われている市販の白血球除去フィルターによる血液製剤からの白血球除去により、TSE感染因子が42%除去されたが、感染因子の除去は不十分である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of General Virology 2004;85(Pt9):2727-33	PrP ^{Amr} をエンコードする対立遺伝子をホモ接合に持つ羊は、スクレイピー抵抗性であると考えられていたが、小脳、延髄間部、前頭皮質、脳幹にPrP ^{Sc} 蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2004;364(9433):527-9	腹部大動脈瘤破裂により死亡した高齢者の剖検により、英国で輸血による感染の疑われる2例目のvCJD感染症が報告された。神経症状はなく、脳や脊髄、扁桃、筋肉等からはPrP ^{Sc} 検出されなかったが、脾臓に蓄積が認められた。また、プリオン蛋白遺伝子のコドン129番が、MV型へのヘテロ接合体であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の類回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004;24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2004年8月20日	中国の複数の地域の農場においてブタが、高病原性鳥インフルエンザウイルスH5N1株に感染していることが示された。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼育ネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	The New England Journal of Medicine 2004;351(8):760-68	血清学的検査陰性供血者の「米国供血者に対するミニプール核酸増幅検査の結果、年間約5件のHIV-1、また、約56件のHCVを検出した。
											B型肝炎C型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(2):216-20	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HVC感染の約11.5%はビューティートリートメント(理容室の髭剃りや刺青等)による感染である。
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The Independent Bangladesh) Indendependent, Bangladesh、11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
2005/4/1	50002	日本赤十字社	乾燥ペブリン処理人免疫グロブリン	ペブシン	ブタ胃	米国	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2004年8月20日	中国の複数の地域の農場においてブタが、高病原性鳥インフルエンザウイルスH5N1株に感染していることが示された。
2005/4/1	50003	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兎炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス摂取家兎炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス摂取家兎炎症皮膚抽出液	日本	有効成分	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/1	50004	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/1	50005	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ブタ膀胱	日本、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/1	50006	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	漿尿膜	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/1	50007	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ皮膚	ウサギ	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/4	50008	伊藤ライフサイエンス株式会社	パルナバリンナトリウム	パルナバリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMed20040917-0010(オーストラリア農業省)	西子モールでブタおよびニワトリが原因不明の大量死
											炭疽	ProMed20041010-0010(イタリア炭疽菌検査室)	Basilicata州における最新の流行が発生し、この事例では、炭疽菌が分離されブタ症例が確認された。
											E型肝炎	1.食安監発第1129001, 2004年11月29日付 2.厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html , http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/kanshi/041129-1.html 3.IDWR2004.11.15~21	E型肝炎に関するQ&Aと情報
											口蹄疫	ProMed20050123-0080(Yahoo NZ)	9年ぶりにフィリピンでブタにおける口蹄疫が根絶された。
											ニパウイルス	ProMed20050130-0010 (New Straits Times 1月29日)	Malacca州の農場で発生した120頭以上のブタ大量死原因はニパウイルスや豚コレラではなかった。
											ウイルス感染	ProMed20050216-0410 (India News 2月24日)	Taj市において100頭以上のブタが大量死したが、原因は不明である。
2005/4/4	50009	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	胚初代培養細胞	ニワトリ	日本、アメリカ、メキシコ	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/4	50010	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥ガスえそウマ抗毒素 ガスえそウマ抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥ボツリヌス抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血液	製造なし	有効成分	無	無	無			
2005/4/4	50011	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子 乾燥濃縮人アンチロニンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国、フランス、アメリカ、カナダ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2156-60	米国においてブタから七面鳥へのH3N2インフルエンザウイルスの異種間伝播が確認された。
2005/4/7	50012	ニプロファーマ株式会社	ヘパリンナトリウム ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
2005/4/7	50013	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ウシ血液	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/7	50014	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生風しんワクチン	ウサギ腎細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/7	50015	大洋薬品工業株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	有	無	無	E型肝炎	肝臓 2004;45(12):688	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
2005/4/8	50016	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン 破傷風トキソイド	ペプトン	ブタの胃	日本またはアメリカ	製造工程	有	無	無	E型肝炎	ウイルス 2004;54(2):243-8	豚、猪、鹿の肝臓からHEVが検出されており、E型肝炎発生原因を考えられる。
2005/4/8	50017	デンカ生研株式会社	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	尿膜腔液	ニワトリの受精卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	食品衛生研究 2004;54(7):21-4	鶏卵(卵黄)中の鳥インフルエンザウイルスの熱抵抗性に関する基礎研究

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/8	50018	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 破傷風トキソイド	ハートエキス	ウシの心臓	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50019	デンカ生研株式会社	ウイルス病秋やみ混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン コレラワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	中国又はポーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50020	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド	カザミノ酸	ウシの乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50021	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 百日せきワクチン ジフテリアトキソイド 破傷風トキソイド コレラワクチン	スキムミルク	ウシの乳	日本又はアメリカ	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/8	50022	デンカ生研株式会社	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウシ血清	ウシの血液	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50023	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウスの脳	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50024	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシの乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50025	デンカ生研株式会社	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 百日せきワクチン	ヒツジ血液	ヒツジの血液	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50026	デンカ生研株式会社	ウイルス病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギの血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50027	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン	ウシ胎児血清	ウシ胎児の血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50028	ニプロファーマ株式会社	塩化第二鉄・硫酸亜鉛配合剤 コンドロイチン硫酸ナトリウム・サリチル酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの軟骨	米国	有効成分添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ 16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/8	50029	宇治製薬株式会社	コンドロイチン硫酸コロイド	コンドロイチン硫酸ナトリウム	牛の軟骨	米国	添加物	無	無	無			
2005/4/11	50030	日新製薬株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの気管	アメリカ合衆国、カナダ、ウルグアイ、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド	添加物	無	無	無			
2005/4/12	50031	わかもと製薬株式会社	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC 2005年1月11日	アメリカでは西ナイルウイルス感染が増加の傾向にある。アメリカ以外でも感染報告が散見される。
											HIV	AABB Weekly Report 2004; 10(35)	インド保健省によると、現在のインドにおけるAIDS症例の3~4%が輸血を介して伝播された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	The Weekly Epidemiological Record 2004;79(50)	WHOおよびUNAIDは2004年末でのHIV/AIDS感染者の世界的状況について述べている。HIV/AIDS流行により、2004年に約500万(430万～640万)人がHIVに感染し、約300万(280万～350万)人が死亡している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2004年11月3日	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の病因である感染性の異常プリオンが、輸血によって伝播される可能性を示唆する証拠が増えている。
											ブドウ球菌感染	CDC/MMWR 2005;54(07);168-70	2004年に血小板輸血に関連した致死的な敗血症2症例について。
											ウエストナイルウイルス	CDC/MMWR 2004;53(36)842-4	2004年、米国における輸血に関連した西ナイルウイルス感染が1例報告された。
											細菌感染	AABB Weekly Report 2004; 10(32)	86才女性が、稀な種類の細菌が含まれた赤血球の輸血を受けた後に死亡した。
											HTLV	Commun Dis Public Health 2004;7(3):207-11	輸血を介して伝播されたHTLV確定例の2症例が報告された。
2005/4/12	50032	わかもと製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC 2005年1月11日	アメリカでは西ナイルウイルス感染が増加の傾向にある。アメリカ以外でも感染報告が散見される。
											HIV	The Weekly Epidemiological Record 2004;79(50)	WHOおよびUNAIDは2004年末でのHIV/AIDS感染者の世界的状況について述べている。HIV/AIDS流行により、2004年に約500万(430万～640万)人がHIVに感染し、約300万(280万～350万)人が死亡している。
2005/4/12	50033	アベンティスパスツール第一ワクチン株式会社	黄熱ワクチン	発育鶏胚	発育鶏卵	米国	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50034	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ又はブタの肺	ウシ: ニュー ジー ラン ド、 ブタ: デン マ ー ク	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞社2004年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/12	50035	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンピン	ウシの血液	ニュー ジー ラン ド、 米 国、 オ ー ス ト ラ リ ア	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞社2004年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/12	50036	財団法人 阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ブタ肉エキス	ブタの肉、脂肪	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50037	財団法人 阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥弱毒性水痘ワクチン 水痘抗原	トリブシン	ブタの膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50038	財団法人 阪大微生物病研究会	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒性麻しんワクチン 水痘抗原	コレステロール	ヒツジの毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50039	財団法人 阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン	SPFウズラ胚	SPF发育ウズラ卵	日本	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/12	50040	財団法人 阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性水痘ワクチン 水痘抗原	MRC-5	ヒト胎児肺二倍体細胞	1966年に樹立したマスタセルバンクに使用したヒトの細胞株	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50041	財団法人 阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 乾燥まむし抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥破傷風抗毒素	ウマ血清	ウマの血清	米国	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50042	財団法人 阪大微生物病研究会	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウスの脳	マウス	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/13	50043	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	血液	ウシ血液	日本	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/13	50044	東菱薬品工業株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液「トーピン」	ウサギ皮膚	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	野兔病	CDC/MMWR 2005;54(07):170-3	2001-2004年の間にワイオミング州でヒトでの野兔病感染症例報告が増加した。
2005/4/13	50045	東菱薬品工業株式会社	バトロキソピン	バトロキソピン	蛇毒	ブラジル	有効成分	無	無	無			
2005/4/13	50046	東菱薬品工業株式会社		ウシ血清アルブミン	ウシ血清	アメリカ	製造工程	有	無	無	原虫、肺炎、レプトスピラ症	Veterinary Record (VET. REC.) (United Kingdom) 28 AUG 2004, 155/9(255-258)	・コクシジウム症の大きな増加が確認された ・子牛に肺炎(細菌性、RSウイルス及びパラインフルエンザ3型)の発症の増加が確認された ・幼牛にLeptospira Hardjoの発症の増加が確認された

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											原虫感染、サルモネラ	Veterinary Record (VET. REC.) (United Kingdom) 02 OCT 2004, 155/14 (409-412)	・8月にNeospora caninumの深刻な流行の発生が報告された ・サルモネラ症例の急増が報告された
											炭疽	Canadian veterinary journal 2004;45(6):516-7	2004年1月中旬に牛の突然死が170頭に発生した。その後も突然死が続いた。開業医と州及び国の研究機関で連携し、調査した結果、炭疽菌によるものであることが判明した。
											寄生虫感染	Acta Tropica (ACTA TROP.) (Netherlands) 2004;92(3):231-6	メキシコで初めて、牛由来のエキノコックス症に感染した患者が報告された。
											クローン病	Medecin Veterinaire du Quebec 2004;34:90-2	Mycobacterium avium subsp paratuberculosis (MAP) がクローン病の原因となる根拠を述べて感染経路について考察している。
											クローン病	The Lancet 2004;364:396-7	Mycobacterium avium subsp paratuberculosis (MAP) とクローン病との関連性。
											クローン病	The Lancet 2004;364:1039-44	Mycobacterium avium subsp paratuberculosis (MAP) がクローン病の原因となる根拠を支持するデータが得られたことを述べて感染経路について考察している。
											エボラ出血	Emerging Infectious Diseases 2005;11(2):283-90	2001～2003年にガボン共和国及びコンゴ共和国でヒトで流行したエボラ出血熱について、野生動物のエボラウイルスによる死体を採取し、検査した結果、類人猿のみでなく、小型レイヨウ(牛科)であるduikerからもエボラウイルスが検出された。
2005/4/13	50047	株式会社ベネシス	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ	有効成分	無	無	無			
2005/4/13	50048	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	マウスモノクローナル抗体	マウス脾臓細胞と骨髄腫細胞のハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/13	50049	株式会社ベネシス	乾燥抗HBs人免疫グロブリン ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting, UK/February 2003	本文書は、英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルタント会社のDet. Norske Veritas (DNV)が、vCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るために、vCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行い、さらにリスク削減を目的にした手段の有効性を考察したものであり、2003年2月に最終報告として発行(DNVのHPIには2004年4月に公表)された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News 2004年11月10日	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2004年11月11日	BSE由来プリオンでのヒトへの1次及び2次感染は、プリオンソース及びレシピエントの遺伝型の如何により、孤発性CJD様表現型もしくはvCJDに加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者全てをPrPScのタイプに分類したサーベランスを行なうことによって、BSE曝露パターンやvCJDプリオンの病原性ソースに関連した新規のPrPScタイプや特定のPrPScサブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルパルポウイルス	J of Infectious Diseases 2004;190(11)1900-7	サルのパルポウイルス病が潜在的な人畜共通の伝染病と認識することに関する研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSc)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											A型肝炎	AABB Weekly Report 2004;10(44) 3	米国血液銀行協会(AABB)は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルス(HAV)の流行に曝露された可能性のある供血者の取扱いについて、HAVに最後に曝露された可能性がある日から120日間供血停止することを勧告する。また、供血者がHAVに曝露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	RIVM rapport 630940003. Bilthoven: RIVM	2003年、オランダのH7N7鳥インフルエンザアウトブレイクコントロール期間内のリスクファクター、健康、福祉、ヘルスケアニーズと予防措置に関する調査結果。調査対象となった養鶏場従業員関係者の約千人が鳥インフルエンザに感染していた。調査結果の主な内容:①抗ウイルス薬のオセルタミビルは感染防御効果が見られたが、マスクやゴーグルでは見られなかった。②発症した453人の主要症状は結膜炎で、そのうち89人から鳥インフルエンザウイルスが検出され、そのうち3人は家禽との接触はなく、感染した人との接触のみであった。③感染した家禽業者と接触した家族の59%で抗体が検出された。④流行中感染した家禽と接触した500人のうち約50%に抗体が検出された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005; 20(2)447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(7):686-91	H5N1インフルエンザの臨床スペクトルに属する疾患について、これまで考えられていた範囲よりも、より広い範囲にわたるものであることが示唆された事例。
											ニパウイルス	Health and Science Bulletin,2(2),2004	2004年2月19日~4月16日にバングラデシュ Faridpur地区の住民36人がニパウイルスに感染し、27人が死亡した。患者23人の血清中にニパウイルスのIgM抗体が確認され、患者数名の喉拭き取りサンプルからニパウイルスRNAが検出された。濃厚接触のあったこれらの患者の家族間などに飛沫感染によると思われるヒトからヒトへのニパウイルス感染拡大が見られた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ハンタウイルス	Microbiology and Immunology 2004;48 (11):843	2000年～2003年の日本各地におけるげっ歯類のハンタウイルス感染についての疫学調査結果。
											HTLV	The New York Times, February 26, 2005	アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起すウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性がある。第12回Annual Retrovirus Conferenceにおいて公表された。これらのレトロウイルスをHTLV-3及びHTLV-4と名づけたが、従来のHIVやHTLVと似ているのかまだ判っておらず、ヒトにどの程度伝播するのかカメルーンのヒト4000人について更に検査する計画である。
2005/4/14	50050	テルモ株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	無	無	無			
2005/4/14	50051	高田製薬株式会社	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
2005/4/15	50052	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラドウォーター	ブタ脂肪	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50053	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタ胃液	不明	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50054	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、脛肉 ブタラドウォーター	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ、ブタ:米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50055	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え) レノグラステム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明注)原本参照	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50056	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え) ストレプトコックスピオゲネス(A群3型)Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	パンクレアチン	ブタ膵臓	1.米国、カナダ 2.日本、米国、カナダ、フランス	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/15	50057	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ (遺伝子組換え)	ブタインスリン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50058	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ (遺伝子組換え)	DMEM/F12	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50059	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ (遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血清	米国、オーストラリア、 ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50060	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血漿	不明 注) 原本参照	製造工程	無	無	無			
2005/4/18	50061	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺	ベルギー、スペイン、フランス、イタリア、リトアニア、ポーランド、スウェーデン、	製造工程	無	無	無			
2005/4/27	50062	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	アメリカ、オーストラリア、カナダ	製造工程	有	無	無	ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年10月1日号 Vol.17 No.40	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 6報告終了日-2004年9月21日 新規アウトブレイク-Texas州などの合計32農場 新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて疑い例396例、症例13例
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月12日号 Vol.17 No.46	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 7報告終了日-2004年10月26日 新規アウトブレイク-Colorado州Adams群などにおける合計53農場(ニューメキシコまたはテキサス州において2004年9月22日~2004年10月26日に新たな症例は確認されていない)新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて疑い例792例、症例10例

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月26日号 Vol.17 No.48	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 8報告終了日-2004年11月16日 新規アウトブレイク-コロラド州、ニューメキシコ州における計33件2004年9月22日~2004年11月26日にテキサス州における症例は検出されていない。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例1176例、症例12例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原/感染源-不明拡大様式-不明
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年12月10日号 Vol.17 No50	米国における水疱性口内炎Follow-up report no9今回報告終了日-2004年11月30日新規アウトブレイク-NewMexico州における1件、Colorad州における2件。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例15例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2005年1月7日号 Vol.18 No.1	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 10報告終了日-2005年1月6日 新規アウトブレイク-コロラド州における1件 新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例250例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey
											BSE	ProMed20041231-0020(Canadian Press)	カナダ食品検査局は、BSE疑い症例が検知されたと発表。食品検査局では、予備的な検査結果は、12月29日に判明したとし、検査は問題の個体が歩行困難と確認されたのを受けて実施されたと加えた。今回の検査結果は最終的ではなく、同局は、複数のスクリーニング検査で陽性反応が得られたが、陽性となった個体の組織は、ヒトの食糧や家畜の肥料としては使用されていないとしている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050103-0020(カナダ食品検査局)	疑い動物でBSE感染の診断確定、調査が進行中。カナダ食品検査局(CFIA)は本日[2004年1月2日]、アルバータ州の高齢の乳牛が検査で牛海綿状脳症(BSE)陽性となったことを確認した。感染が確認された個体は、1997年の飼料規制導入以前の1996年に誕生した。このウシは、飼料規制以前に汚染された飼料から感染したと考えられている。BSE確定症例のいかなる部分も、ヒトおよび動物飼料の食物連鎖環に入っていない。この発見は、食品安全上の危険性増加にはあたらない。
											BSE	ProMed20050109-0020(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050112-0020(CFIA)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050126-0070(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20041119-0010 (Associated Press)	新たなBSE疑い例。農務省当局は11月18日、米国で2例目となるBSE症例が確認される可能性がでたと発表。
											結核	ProMed20050208-0070 (ネブラスカ州農業局)	最近ネブラスカ州で発見された牛結核(TB)症例(屠殺時陽性確認)の調査に積極的な取り組み。
2005/4/18	50063	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	ウマの血漿	フランス	製造工程	無	無	無			
2005/4/18	50064	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胎盤組織	ヒト胎盤	フランス	製造工程	無	無	無			
2005/4/18	50065	伊藤ライフサイエンス株式会社	日局トロンビン	トロンビン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	有	無	無	狂犬病	1.ProMed20041026-0040(Regnum allnews)	ロシアで狂犬病が野生動物間で感染拡大し、感染した子犬から受傷した子ウシが発病した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	1.ProMed20041105-0060(OIE) 2.OIE Disease Information 5Nov2004Vol17	フィンランドで発生したウシの炭疽の報告である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	1.厚生労働省ホームページ 2.農業情報研究所ホームページ 3.ProMed20041209-0030(EU,OIE)	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
											炭疽	1.ProMed20041113-0080(国際SOS公衆衛生部)	インドネシアで炭疽に感染したウシの肉を摂取し、ヒトに感染したという報告である
											感染	1.ProMed20041127-0070(The Daily Star) 2.The Daily Star November23,2000	バングラデシュで原因不明の疾患により、ウシが約2000頭死亡したという報告である。
											口蹄疫	1.ProMed20041203-0010(Xinhua12月1日)	ウガンダでウシ2000頭以上が口蹄疫で死亡したという報告
											炭疽	1.ProMed20050112-0080(Russian news agency) 2.ProMed20050205-0050(Radio Kurs 2月4日)	ロシアKursk地区でのウシ炭疽症例の報告
											炭疽	1.ProMed20050116-0080(OIE) 2.OIE,DiseaseInformation 2005;18(2)	ペルーでウシの炭疽が発生し11頭が死亡したという報告。
											炭疽	1.ProMed20050120-0120(南アフリカ国立感染症研究所) 2.IOL/SAPA http://www.iol.co.za	南アフリカで死亡したウシの肉を食べてヒトに炭疽が感染したとの報告。
											炭疽	1.ProMed20050120-0100(The Herald/All Africa Global Media1月13日) 2.ProMd20050127-0100(All Africa)	Mosvingo地域で炭疽患者70名以上が発生し死亡例もでている。炭そに感染したウシからの食肉の疑いが出ている。
											口蹄疫	1.ProMed20050208-0120(Pakistan Link) 2.Pakistan Link, 7 Feb 2005	Lakki地域で口蹄疫によりウシ数百頭が死亡したという報告。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	1.PoMed20050205-0040(共同ニュース2月4日) 2.Eurosurveillance Weekly;10,ISS 6,10 February 2005 3.Infectious Diseases News Brief 2005年2月18日号	厚生労働省は、日本で初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者を確定、患者は1990年前後に約1か月間の英国への渡航歴があることを発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050216-0190(Reuters News)	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/18	50066	伊藤ライフサイエンス株式会社	日局トロンピン	トロンボプラスチン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	有	無	無	E型肝炎	1.食安監発第1129001, 2004年11月29日付 2.厚生労働省ホームページH16年11月29日 3.IDWR2004.11.15~21	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											口蹄疫	1.ProMed20050123-0080(PNA) 2.YahooNews Aus&NZ Jan20 2005	9年ぶりにフィリピンでブタにおける口蹄疫が根絶された。
											感染	1.ProMed20050130-0010(New Straits Times1月29日)	Malacca州の農場で発生した120頭以上のブタ大量死原因はニパウイルスや豚コレラではなかった。
											感染	1.ProMed20050216-0410(New Kerala 2月4日)	Taj市において100頭以上のブタが大量死したが、原因は不明である
2005/4/19	50067	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	トリプシン	ブタ隣臓	カナダ、アメリカ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12): 2156-60	米国においてブタから七面鳥へのH3N2インフルエンザウイルスの異種間伝播が確認された。
2005/4/19	50068	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	パンクレアチン	ブタ隣臓	カナダ、イタリア、アメリカ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12): 2156-60	米国においてブタから七面鳥へのH3N2インフルエンザウイルスの異種間伝播が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/19	50069	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥はぶウマ抗毒素 乾燥まむしウマ抗毒素 乾燥ガスエソ抗毒素 ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥ボツリヌス抗毒素 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ペブシン	ブタ胃	アメリカ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12): 2156-60	米国においてブタから七面鳥へのH3N2インフルエンザウイルスの異種間伝播が確認された。
2005/4/19	50070	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥日本脳炎ワクチン 日本脳炎ワクチン	脳	マウス脳	日本	製造工程	有	無	無	人畜共通感染症	CDC/MMWR 2005;53(51&52) 1198-1202	2003年、米国において鼠咬熱による2例の死亡例が発生した。1例は52歳女性のペットショップ店員で、救急外来受診の4日前に店のラットに人差し指を咬まれ、ICU入院から12時間後に死亡した。2例目は、9匹のラットを飼っている19歳女性で、ラットに咬まれたかどうかは不明であるが、病院に搬送されたときにすでに死亡していた
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2005;307(18): 1107-10	慢性炎症状態がプリオンの自然及び医原性伝播に影響し拡大させる可能性を示唆した。
2005/4/19	50071	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子	マウス由来モノクローナル抗体	マウス脾臓	日本	製造工程	有	無	無	人畜共通感染症	CDC/MMWR 2005;53(51&52) 1198-1202	2003年、米国において鼠咬熱による2例の死亡例が発生した。1例は52歳女性のペットショップ店員で、救急外来受診の4日前に店のラットに人差し指を咬まれ、ICU入院から12時間後に死亡した。2例目は、9匹のラットを飼っている19歳女性で、ラットに咬まれたかどうかは不明であるが、病院に搬送されたときにすでに死亡していた
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2005;307(18): 1107-10	慢性炎症状態がプリオンの自然及び医原性伝播に影響し拡大させる可能性を示唆した。
2005/4/19	50072	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人活性化プロテインC 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅲ因子	インスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたんぱく質が見つかったという報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/19	50073	バイエル薬品株式会社	オクトコグ アルファ (遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血液	米国	製造工程	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurol Sci 2004;25:122-9	新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)とウシ海綿状脳症(BSE)との関連性に関する総説。vCJDの伝播経路として一般的に捉えられているBSE感染ウシの中枢神経系組織が混入した組織の経口摂取についてさらなる研究の必要性を提示している。
											HIV	Science 2004;305:1243-4	米国における現在のAIDS患者背景に関する報告。アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系若年層、低所得層における感染率の高さが示されている。またいくつかのHIV感染対策案が示されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transmissible Spongiform Encephalopathies Advisory Committee 16th Meeting Oct 14.2004	FDAと伝染性海綿状脳症諮問委員会(TESEAC)との会合内容の要約。これまでの勧告の経緯と現行のFDAが定めるvCJD伝播リスク軽減措置の追加または改定措置の必要性に関する問い合わせ内容。
											HIV	FDA Guidance for industry October 2004	HIV-1、HIV-2およびHCVに対するNATによるスクリーニング法に関するFDAのガイダンス最新版。
											レトロウイルス	Blood Products Advisory Committee 2004年10月21-22日	サル泡沫状ウイルス(SFV)および非ヒト霊長類の保有するウイルスがヒトに伝播するリスクについて、FDAから血液製剤諮問委員会(BPAC)への問い合わせ内容。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイパー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											重症急性呼吸器症候群	Vox Sanguinis 2004;87:302-3	重症急性呼吸器症候群(SARS)の病原体SARSコロナウイルスの熱不活化に関する研究報告。原料血漿中に存在するSARSコロナウイルスによる感染リスクは、60℃10分間の熱処理工程により極めて低くすることが可能であることを示唆している。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年1月21日	2005年1月2日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシが1997年に施行された反芻動物由来飼料禁止以前に生産された飼料が与えられていたことが確認された

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											伝染性紅斑	British Journal of Haematology 2004;128:401-4	静注用免疫グロブリン製剤の製造工程におけるヒトパルボウイルスB19の液状加熱処理による不活化に関する実験。同ウイルスはこの加熱処理により迅速に不活化されることが示された。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年2月11日	2005年1月11日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシは反芻動物由来飼料の使用禁止措置直後に生産された飼料を介して感染した可能性が確認された。感染ウシの出生農場産のウシのうち生存していたウシは屠殺されBSE陰性が確認された、BSE検査可能月齢に達していないウシは屠殺された。その他のウシは大半が既に死亡しているか屠殺されていた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Press Release 2005年2月25日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年3月2日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											伝染性紅斑	Electrophoresis 2005;26:28-34.	血漿分画製剤の製造工程に応用し得る新規のウイルス除去技術の紹介。イヌパルボウイルス(CVP)を用いた実験においてウイルスカ価が10000分の1に減少し、かつ分離後の血漿蛋白の純度および機能、収率は低下しないことが示された。
2005/4/19	50074	バイエル薬品株式会社	人血清アルブミンオクトコグ アルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分製造工程	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurol Sci 2004;25:122-9	新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)とウシ海綿状脳症(BSE)との関連性に関する総説。vCJDの伝播経路として一般的に捉えられているBSE感染ウシの中樞神経系組織が混入した組織の経口摂取についてさらなる研究の必要性を提示している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	Science 2004;305:1243-4	米国における現在のAIDS患者背景に関する報告。アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系若年層、低所得層における感染率の高さが示されている。またいくつかのHIV感染対策案が示されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transmissible Spongiform Encephalopathies Advisory Committee 10th Meeting Oct 14.2004	FDAと伝染性海綿状脳症諮問委員会(TESEAC)との会合内容の要約。これまでの勧告の経緯と現行のFDAが定めるvCJD伝播リスク軽減措置の追加または改定措置の必要性に関する問い合わせ内容。
											HIV	FDA Guidance for industry October 2004	HIV-1、HIV-2およびHCVに対するNATによるスクリーニング法に関するFDAのガイダンス最新版。
											レトロウイルス	Blood Products Advisory Committee 2004年10月21-22日	サル泡沫状ウイルス(SFV)および非ヒト霊長類の保有するウイルスがヒトに伝播するリスクについて、FDAから血液製剤諮問委員会(BPAC)への問い合わせ内容。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											重症急性呼吸器症候群	Vox Sanguinis 2004;87:302-3	重症急性呼吸器症候群(SARS)の病原体SARSコロナウイルスの熱不活化に関する研究報告。原料血漿中に存在するSARSコロナウイルスによる感染リスクは、60°C10分間の熱処理工程により極めて低くすることが可能であることを示唆している。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年1月21日	2005年1月2日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシが1997年に施行された反芻動物由来飼料禁止以前に生産された飼料が与えられていたことが確認された
											伝染性紅斑	British Journal of Haematology 2004;128: 401-4	静注用免疫グロブリン製剤の製造工程におけるヒトパルボウイルスB19の液状加熱処理による不活化に関する実験。同ウイルスはこの加熱処理により迅速に不活化されることが示された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年2月11日	2005年1月11日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシは反芻動物由来飼料の使用禁止措置直後に生産された飼料を介して感染した可能性が確認された。感染ウシの出生農場産のウシのうち生存していたウシは屠殺されBSE陰性が確認された、BSE検査可能月齢に達していないウシは屠殺された。その他のウシは大半が既に死亡しているか屠殺されていた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Press Release 2005年2月25日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年3月2日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											伝染性紅斑	Electrophoresis 2005;26:28-34.	血漿分画製剤の製造工程に応用し得る新規のウイルス除去技術の紹介。イヌパルボウイルス(CVP)を用いた実験においてウイルスカ価が10000分の1に減少し、かつ分離後の血漿蛋白の純度および機能、収率は低下しないことが示された。
2005/4/19	50075	バイエル薬品株式会社	加熱人血漿たん白オクトコグ アルファ (遺伝子組換え)	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	有効成分製造工程	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurol Sci 2004;25:122-9	新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)とウシ海綿状脳症(BSE)との関連性に関する総説。vCJDの伝播経路として一般的に捉えられているBSE感染ウシの中樞神経系組織が混入した組織の経口摂取についてさらなる研究の必要性を提示している。
											HIV	Science 2004;305:1243-4	米国における現在のAIDS患者背景に関する報告。アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系若年層、低所得層における感染率の高さが示されている。またいくつかのHIV感染対策案が示されている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transmissible Spongiform Encephalopathies Advisory Committee 16th Meeting Oct 14.2004	FDAと伝染性海綿状脳症諮問委員会(TESEAC)との会合内容の要約。これまでの勧告の経緯と現行のFDAが定めるvCJD伝播リスク軽減措置の追加または改定措置の必要性に関する問い合わせ内容。
											HIV	FDA Guidance for industry October 2004	HIV-1、HIV-2およびHCVに対するNATによるスクリーニング法に関するFDAのガイダンス最新版。
											レトロウイルス	Blood Products Advisory Committee 2004年10月21-22日	サル泡沫状ウイルス(SFV)および非ヒト霊長類の保有するウイルスがヒトに伝播するリスクについて、FDAから血液製剤諮問委員会(BPAC)への問い合わせ内容。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											重症急性呼吸器症候群	Vox Sanguinis 2004;87:302-3	重症急性呼吸器症候群(SARS)の病原体SARSコロナウイルスの熱不活化に関する研究報告。原料血漿中に存在するSARSコロナウイルスによる感染リスクは、60°C10分間の熱処理工程により極めて低くすることが可能であることを示唆している。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年1月21日	2005年1月2日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシが1997年に施行された反芻動物由来飼料禁止以前に生産された飼料が与えられていたことが確認された
											伝染性紅斑	British Journal of Haematology 2004;128:401-4	静注用免疫グロブリン製剤の製造工程におけるヒトパルボウイルスB19の液状加熱処理による不活化に関する実験。同ウイルスはこの加熱処理により迅速に不活化されることが示された。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年2月11日	2005年1月11日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシは反芻動物由来飼料の使用禁止措置直後に生産された飼料を介して感染した可能性が確認された。感染ウシの出生農場産のウシのうち生存していたウシは屠殺されBSE陰性が確認された、BSE検査可能月齢に達していないウシは屠殺された。その他のウシは大半が既に死亡しているか屠殺されていた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Press Release 2005年2月25日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年3月2日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											伝染性紅斑	Electrophoresis 2005;26:28-34.	血漿分画製剤の製造工程に応用し得る新規のウイルス除去技術の紹介。イヌバルボウイルス(CVP)を用いた実験においてウイルスカ価が10000分の1に減少し、かつ分離後の血漿蛋白の純度および機能、収率は低下しないことが示された。
2005/4/19	50076	バイエル薬品株式会社	pH4処理酸性人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	ヒト血液	米国	有効成分	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurol Sci 2004;25:122-9	新変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)とウシ海綿状脳症(BSE)との関連性に関する総説。vCJDの伝播経路として一般的に捉えられているBSE感染ウシの中樞神経系組織が混入した組織の経口摂取についてさらなる研究の必要性を提示している。
											HIV	Science 2004;305:1243-4	米国における現在のAIDS患者背景に関する報告。アフリカ系アメリカ人、ヒスパニック系若年層、低所得層における感染率の高さが示されている。またいくつかのHIV感染対策案が示されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transmissible Spongiform Encephalopathies Advisory Committee 16th Meeting Oct 14.2004	FDAと伝染性海綿状脳症諮問委員会(TESEAC)との会合内容の要約。これまでの勧告の経緯と現行のFDAが定めるvCJD伝播リスク軽減措置の追加または改定措置の必要性に関する問い合わせ内容。
											HIV	FDA Guidance for industry October 2004	HIV-1、HIV-2およびHCVに対するNATIによるスクリーニング法に関するFDAのガイダンス最新版。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											レトロウイルス	Blood Products Advisory Committee 2004年10月21-22日	サル泡沫状ウイルス(SFV)および非ヒト霊長類の保有するウイルスがヒトに伝播するリスクについて、FDAから血液製剤諮問委員会(BPAC)への問い合わせ内容。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											重症急性呼吸器症候群	Vox Sanguinis 2004;87:302-3	重症急性呼吸器症候群(SARS)の病原体SARSコロナウイルスの熱不活化に関する研究報告。原料血漿中に存在するSARSコロナウイルスによる感染リスクは、60℃10分間の熱処理工程により極めて低くすることが可能であることを示唆している。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年1月21日	2005年1月2日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシが1997年に施行された反芻動物由来飼料禁止以前に生産された飼料が与えられていたことが確認された
											伝染性紅斑	British Journal of Haematology 2004;128: 401-4	静注用免疫グロブリン製剤の製造工程におけるヒトパルボウイルスB19の液状加熱処理による不活化に関する実験。同ウイルスはこの加熱処理により迅速に不活化されることが示された。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年2月11日	2005年1月11日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシは反芻動物由来飼料の使用禁止措置直後に生産された飼料を介して感染した可能性が確認された。感染ウシの出生農場産のウシのうち生存していたウシは屠殺されBSE陰性が確認された、BSE検査可能月齢に達していないウシは屠殺された。その他のウシは大半が既に死亡しているか屠殺されていた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Press Release 2005年2月25日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年3月2日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
											伝染性紅斑	Electrophoresis 2005;26:28-34.	血漿分画製剤の製造工程に応用し得る新規のウイルス除去技術の紹介。イヌバルボウイルス(CVP)を用いた実験においてウイルスカ価が10000分の1に減少し、かつ分離後の血漿蛋白の純度および機能、収率は低下しないことが示された。
2005/4/19	50077	バイエル薬品株式会社	オクトコグ アルファ (遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国	製造工程	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年1月21日	2005年1月2日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシが1997年に施行された反芻動物由来飼料禁止以前に生産された飼料が与えられていたことが確認された
											BSE	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年2月11日	2005年1月11日に発見されたウシ海綿状脳症に関する調査結果。感染ウシは反芻動物由来飼料の使用禁止措置直後に生産された飼料を介して感染した可能性が確認された。感染ウシの出生農場産のウシのうち生存していたウシは屠殺されBSE陰性が確認された、BSE検査可能月齢に達していないウシは屠殺された。その他のウシは大半が既に死亡しているか屠殺されていた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	USDA Press Release 2005年2月25日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Canadian Food Inspection Agency News Release 2005年3月2日	米農務省がカナダにおいて実施した反芻動物由来飼料の使用禁止措置の遵守状況に関する調査。調査結果では、カナダにおける同禁止措置の遵守状況は良好であり、遵守率も高まっていることが報告された。
2005/5/1	50078	大洋薬品工業株式会社	ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液	ウサギ	中国	有効成分	有	無	無	野兎病	CDC/MMWR 2005;54(07):170-3	2001-2004年の間にワイオミング州でヒトでの野兎病感染症例報告が増加した。
											トキソプラズマ	Veterinary Parasitology 2004;123:265-70	1992-2003年の間にスペインの5つの地域から集めた野性ウサギの血清を調べた報告。野兎のT. gondiiの感染保有率に影響する要因として地域性がある。
2005/4/20	50079	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	ヘパリン	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	有	無	無	人畜共通感染症	Veterinary Microbiology 2004;104:113-7	ブタTTVはブタの臓器や細胞の異種移植によりヒトへ感染する。ブタTTVはブタでは非病原性であるが、免疫抑制異種移植レシピアントで病原性になる可能性がある。したがって異種移植のブタドナーをスクリーニングすることが重要である。
2005/4/20	50080	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	ウマコラーゲン	ウマアキレス腱	フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	ProMed20041008-2759 (フランス食品安全局)	2004年8月28日(疫学第35週)に、ウマ2頭のWNV感染疑い(臨床診断)例が、フランス南東部Camargue地域で獣医師により確認された。9月30日までにウマの死亡例4例と疑い症例37頭が報告された。
2005/4/20	50081	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	ヒトフィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	無	無	無			
2005/4/20	50082	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	ヒトアルブミン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	添加物	無	無	無			
2005/4/20	50083	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	トロンボプラスチン	ウサギ脳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/20	50084	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	アプロチニン	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
2005/4/20	50085	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	製造工程	無	無	無			
2005/4/20	50086	ZLBベーリン グ株式会社	フィブリノゲン配合剤	トロンビン画分	ウシ血液	ニュージーランド	有効成分	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/18	50087	日本化薬株式会社	BCG・コンノート株	乾燥BCG膀胱内用(コンノート株)	牛型結核菌生菌	カナダ	有効成分	無	無	無			
2005/4/21	50088	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロニンアルファ2a(遺伝子組換え) 注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 22 Jul 2004	輸血制限対象として、新たに受血歴不明の供血者と受血経験のある血漿成分提供者を追加。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2004;364(9433):527-9	腹部大動脈瘤破裂により死亡した高齢者の剖検により、英国で輸血による感染の疑われる2例目のvCJD感染症が報告された。神経症状はなく、脳や脊髄、扁桃、筋肉等からはPrPresga検出されなかったが、脾臓に蓄積が認められた。また、プリオン蛋白遺伝子のコドン129番が、MV型へのヘテロ接合体であった。
											HIV	Vox Sanguinis 2004;86:171-7	血液製剤のミニプール核酸増幅検査(MP-NAT)が導入されてから初めての輸血によるHIV感染事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年10月22日	仏国で8例目のvCJD患者が報告された。仏国初の供血経験者であり、患者由来の原料が血漿分画製剤の製造に使用されていたが、血漿分画製剤による伝播の証拠はないと述べている。
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											B型肝炎	共同通信 2004年12月17日(H16年12月17日血液事業部会より)	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion 2004;44(12):1695-9	ミニプールでの核酸検査を行ったにもかかわらず、輸血で西ナイルウイルスに感染した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
2005/4/21	50089	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロニンアルファ2a(遺伝子組換え)	マウスの腹水由来成分	マウスの腹水	アメリカ	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/21	50090	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ2a(遺伝子組換え) 注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え) 9	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/6/3	50091	興和株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	製造工程	無	無	無			
2005/4/22	50092	住友製薬株式会社	インターフェロンアルファ(NAMALWA)	加熱人血漿たん白	人血液	米国	添加物	無	無	無			
2005/4/22	50093	住友製薬株式会社	インターフェロンアルファ(NAMALWA)	ヒトリンパ芽球細胞樹立株ナマルバ細胞	ヒト細胞	-	製造工程	無	無	無			
2005/4/22	50094	住友製薬株式会社	インターフェロンアルファ(NAMALWA)	ウシ血清由来成分	ウシ血液	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/4/22	50095	住友製薬株式会社	インターフェロンアルファ(NAMALWA)	ウシ乳由来成分	ウシ乳	ニュージーランド又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/4/22	50096	住友製薬株式会社	インターフェロンアルファ(NAMALWA)	ヒツジ血清由来成分	ヒツジ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/22	50097	住友製薬株式会社	インターフェロンアルファ(NAMALWA)	鶏卵由来成分	鶏卵	-	製造工程	無	無	無			
2005/4/22	50098	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50099	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、膵臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50100	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ膵臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、膵臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50101	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシリポ蛋白質	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50102	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ蛋白加水分解物	ウシ脾臓、ウシ血液	米国	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/22	50103	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	マウス脾臓細胞と骨髄腫細胞を融合した細胞にヒト遺伝子を導入した細胞株	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	有効成分	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50104	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシアポトランスフェリン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50105	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	マウス骨髄腫由来細胞	マウス骨髄腫	10数年前に樹立したマスタセルバンクに使用した動物の細胞株	製造工程	有	無	無	ハンタウイルス	CDC 2004年9月14日	保有宿主(シカネズミなど)、伝播方法(米国においてHPSは飛沫感染、ヒトからヒトへは伝播しない)およびハンタウイルス性肺炎候群に関するQ&A
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38):1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Associated Press 2004年10月14日	連邦保健担当官は、2004年11月2日に、汚染された血液輸血により変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)に罹患した可能性が高い英国で2例目の患者報告を受けた。死因は別の病状だが検査で保菌判明。
											BSE	Associated Press 2004年11月18日	米国で2例目となるBSE(ウシ海綿状脳症)症例が確認される可能性が出ているが、農務省当局は2004年11月18日、問題のウシは食物連鎖(食糧・飼料)からは除外されていると発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2005年2月9日	Pall社は新たな異常プリオン除去技術に関する最新の科学データを発表した。今春ヨーロッパで市販される予定のLeukotrap Affinity Prion Reduction Filter(白血球吸着親和性プリオン除去フィルター)は、最も汎用される輸血用成分である赤血球から感染性異常プリオンを除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005 ;11(5)	2005年2月8日、FDAのTSE諮問委員会(TSEAC)の会議が開催された。諮問委員会はフランスにおいて1980年以降に輸血を受けた米国の献血者の据え置きをするようFDAに勧告することを決定し、他のヨーロッパ諸国には勧告を拡大すべきでないことを合意した。
2005/4/22	50106	第一サントリーファーマ株式会社	インターフェロンガンマ-1a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Scrippharma;3000:6 2004年 10月29日	クロイツフェルト・ヤコブ病に感染していることが後に判明した人物により献血された血液を用い製造された一部の血液由来医薬品(LFB製の凝固因子、アルブミン)を回収した。この人物は1993年から2003年の間に数回にわたり献血をしていた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sify com News 2004年9月28日	変異型クロイツフェルト・ヤコブ(vCJD)病原体により汚染された血液製剤をインドを含むすくなくとも11カ国に輸出していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											感染	1.ProMed20041023-0110(Web India123, Anl report) 2.Rediff news、11月17日2004年	原因不明の脳炎により少なくとも小児11名が死亡し、数十名が重症となっている。流行が始まってからの死亡患者総数は177名に達し、臨床症状は日本脳炎や髄膜炎と一致すると当局者は見解をのべているが、患者からの血液検体検査からは、ウイルスの特徴に関して具体的な結論は得られていない。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
2005/4/25	50107	日本赤十字社	人血小板濃厚液	人血小板濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の顔回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がパリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSC)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿状脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aabb)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高抗原性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤諮問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											C型肝炎	臨床血液 2004; 45(8): 280 PS-1-247.	HCV-RNA検査陰性であった血液製剤の輸血によってHCV感染が疑われる症例が報告された。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝疾患病棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129- 0060(Daily Yomiuri 11月 28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45 (Suppl3)日 本肝臓学会東部会講演 要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004 年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125- 0070(ウイルス学生物工 学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24 日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	Transfusion 2004;44 Supplement:16A-17A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリボフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											細菌感染	J of Clinical Microbiology 2004; 42(10): 4759-64	血小板製剤に混入した細菌の検出法として、23S rRNAとgroEL遺伝子を利用したreal-time RT PCRが開発された。その感度は、大腸菌125 CFU/mLを検出した
											細菌感染	日本輸血学会雑誌2004; 50(5): 726-9	敗血症性ショックとの関連が疑われた血小板製剤からM. morganii が検出され、輸血による細菌感染が示唆された。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent,Bangladesh、11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マラリア	ABC newsletter 2004年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。
2005/4/25	50108	日本赤十字社	白血球除去人赤血球浮遊液	白血球除去人赤血球浮遊液	人血液	日本	有効成分	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSC)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いのネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR.Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問答委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											C型肝炎	臨床血液 2004; 45(8): 280 PS-1-247.	HCV-RNA検査陰性であった血液製剤の輸血によってHCV感染が疑われる症例が報告された。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝疾患病棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129- 0060(Daily Yomiuri 11月 28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	肝臓2004:45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	プタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	Transfusion 2004;44 Supplement:16A-17A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリボフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											細菌感染	J of Clinical Microbiology 2004; 42(10): 4759-64	血小板製剤に混入した細菌の検出法として、23S rRNAとgroEL遺伝子を利用したreal-time RT PCRが開発された。その感度は、大腸菌125 CFU/mLを検出した
											細菌感染	日本輸血学会雑誌2004; 50(5): 726-9	敗血症性ショックとの関連が疑われた血小板製剤からM. morganii が検出され、輸血による細菌感染が示唆された。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent,Bangladesh、11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒトへの感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マラリア	ABC newsletter 2004年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。
2005/4/25	50109	日本赤十字社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Releases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高抗原性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリバセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004:45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent.Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒトヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
2005/4/25	50110	日本赤十字社	洗浄人赤血球浮遊液	洗浄人赤血球浮遊液	人血液	日本	有効成分	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸が、バリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSC)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエンリーを可能とするよう勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	American Society of Hepatology 46th Annual Meeting 2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											C型肝炎	臨床血液 2004; 45(8): 280 PS-1-247.	HCV-RNA検査陰性であった血液製剤の輸血によってHCV感染が疑われる症例が報告された。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝炎患棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期間を28日から56日に拡大することを勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	Transfusion 2004;44 Supplement:16A-17A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリポフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディプラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											細菌感染	J of Clinical Microbiology 2004; 42(10): 4759-64	血小板製剤に混入した細菌の検出法として、23S rRNAとgroEL遺伝子を利用したreal-time RT PCRが開発された。その感度は、大腸菌125 CFU/mLを検出した
											細菌感染	日本輸血学会雑誌2004; 50(5): 726-9	敗血症性ショックとの関連が疑われた血小板製剤からM.morganiiが検出され、輸血による細菌感染が示唆された。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent,Bangladesh、11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マラリア	ABC newsletter 2004年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/25	50111	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血液	日本	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がβバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強示唆された事例。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aabb)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリバセロンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	肝臓2004:45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Independent,Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
2005/4/25	50112	日本赤十字社	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸が、バリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004;24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSC)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いのネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	American Society of Hepatology 46th Annual Meeting 2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004: 45 (Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディプラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The Independent Bangladesh) Independent, Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/25	50113	日本赤十字社	乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がβバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリバセロンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	肝臓2004:45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent,Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒトヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
2005/4/25	50114	日本赤十字社	新鮮凍結人血漿	新鮮凍結人血漿	人血液	日本	有効成分	有	有	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸が、バリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004;24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSC)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いのネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aaBB)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	American Society of Hepatology 46th Annual Meeting 2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											C型肝炎	臨床血液 2004; 45(8): 280 PS-1-247.	HCV-RNA検査陰性であった血液製剤の輸血によってHCV感染が疑われる症例が報告された。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝炎患棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延滞期間を28日から56日に拡大することを勧告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	Transfusion 2004;44 Supplement:16A-17A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリポフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディプラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004 ;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											細菌感染	J of Clinical Microbiology 2004; 42(10): 4759-64	血小板製剤に混入した細菌の検出法として、23S rRNAとgroEL遺伝子を利用したreal-time RT PCRが開発された。その感度は、大腸菌125 CFU/mLを検出した
											細菌感染	日本輸血学会雑誌2004; 50(5): 726-9	敗血症性ショックとの関連が疑われた血小板製剤からM.morganii が検出され、輸血による細菌感染が示唆された。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent,Bangladesh、11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マラリア	ABC newsletter 2004年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。
2005/4/25	50115	日本製薬株式会社	乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有	無	無	HIV	Vox Sanguinis 2004;86:171-7	血液製剤のミニプール核酸増幅検査(MP-NAT)が導入されてから初めての輸血によるHIV感染事例。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EMA/CHMP/BWP/CPMP/5136/03	vCJDのリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38)1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年10月22日	仏国で8例目のvCJD患者が報告された。仏国初の供血経験者であり、患者由来の原料が血漿分画製剤の製造に使用されていたが、血漿分画製剤による伝播の証拠はないと述べている。
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											B型肝炎	共同通信 2004年12月17日	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion 2004;44(12):1695-9	ミニプールでの核酸検査を行ったにもかかわらず、輸血で西ナイルウイルスに感染した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61.	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR WEEKLY;14(39)	供血後にvCJD発症した人由来の製剤の投与を受けた人の一部については血液等の提供をしないようにする等の勧告。
2005/4/25	50116	日本製薬株式会社	乾燥HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	HIV	Vox Sanguinis 2004;86:171-7	血液製剤のミニプール核酸増幅検査(MP-NAT)が導入されてから初めての輸血によるHIV感染事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EMA/CHMP/BWP/CPMP/5136/03	vCJDのリスクに関する血漿由来医薬品の製造工程の調査についてのガイドライン
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2004;10(38)1-3	FDAの伝達性海綿状脳症諮問委員会(TSEAC)は血液および血液製剤によるvCJDの伝播防止措置は適切であると判断し、現行規制を変更しないこととした。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年10月22日	仏国で8例目のvCJD患者が報告された。仏国初の供血経験者であり、患者由来の原料が血漿分画製剤の製造に使用されていたが、血漿分画製剤による伝播の証拠はないと述べている。
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											B型肝炎	共同通信 2004年12月17日	HBV低濃度キャリアー献血者からの血液が、検査をすり抜け、輸血によりHBVを伝播した。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion 2004;44(12):1695-9	ミニプールでの核酸検査を行ったにもかかわらず、輸血で西ナイルウイルスに感染した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61.	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR WEEKLY;14(39)	供血後にvCJD発症した人由来の製剤の投与を受けた人の一部については血液等の提供をしないようにする等の勧告。
2005/4/25	50117	日本製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	現在は製造していない	有効成分	無	無	無			
2005/4/25	50118	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	デオキシリボヌクレアーゼ I	ウシ臍臓	ニュージーランド	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/25	50119	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	リボヌクレアーゼA	ウシ臍臓	アメリカ、カナダ、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/25	50120	日本メジフィジックス株式会社	診断薬	人血清アルブミンジエチレントリアミン五酢酸テクネチウム	生物学的製剤基準人血清アルブミン	日本	有効成分	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/25	50121	富士製薬工業株式会社	胎盤性性腺刺激ホルモン	胎盤性性腺刺激ホルモン	妊婦の尿抽出物	中国、ブラジル	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	THE IRISH TIMES (2004年11月10日)	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。アイルランドで初めてvCJD症例が確認された
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	国内における変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発生について
											トリパノソーマ症	Weekly Epidemiological records No7(2005/02/18)	T. Evansに起因するトリパノソーマ症のヒト症例が世界で初めて確認された
2005/4/27	50122	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株	マウス細胞	スイス	製造工程	無	無	有			
2005/4/27	50123	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ソマトロピン(遺伝子組換え)	C127細胞株	スイス	有効成分	無	無	有			
2005/4/27	50124	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	トリプシン	ブタ膵臓	英国、米国、カナダ、デンマーク	製造工程	無	無	有			
2005/4/27	50125	セローノ・ジャパン株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	乳糖	ウシ	英国及びポルトガルを除く	添加物	有	無	無	ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年10月1日号 Vol.17 No.40	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 6報告終了日-2004年9月21日 新規アウトブレイク-Texas州などの合計32農場 新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて 疑い例396例, 症例13例 ”
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月12日号 Vol.17 No.46	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 7報告終了日-2004年10月26日 新規アウトブレイク-Colorado州Adams群などにおける合計53農場(ニューメキシコまたはテキサス州において2004年9月22日~2004年10月26日に新たな症例は確認されていない)新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて疑い例792例, 症例10例 ”

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月26日号 Vol.17 No.48	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 8報告終了日-2004年11月16日 新規アウトブレイク-コロラド州、ニューメキシコ州における計33件2004年9月22日~2004年11月26日にテキサス州における症例は検出されていない。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例1176例、症例12例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原/感染源-不明拡大様式-不明
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年12月10日号 Vol.17 No50	米国における水疱性口内炎Follow-up report no9今回報告終了日-2004年11月30日新規アウトブレイク-NewMexico州における1件、Colorado州における2件。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例15例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2005年1月7日号 Vol.18 No.1	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 10報告終了日-2005年1月6日 新規アウトブレイク-コロラド州における1件 新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例250例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey
											炭疽	ProMed20041001-0020 (Dr Antonio)	イタリア南部のバシリカータ州で過去2年間に多数の炭疽流行が発生し、乳牛、ウマ、野生のシカが罹患した。
											炭疽	ProMed20041105-0060(OIE)	フィンランドでの炭疽。動物の異常の初検知日:2004年10月5日。事例発生地:フィンランド南部。流行中の動物個体数:ウシ39頭。症例数/死亡症例数:2頭。感染源:汚染された飼料。感染対策:隔離および国内での移動管理。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
											BSE	厚生労働省ホームページ H17年3月23日	“牛海綿状脳症(BSE)の検査結果について 牛海綿状脳症(BSE)のスクリーニング検査結果の週報が更新されています(平成17年3月13日-3月19日搬入分)。陽性の牛:1件、検査中の牛:0件であることなど記載。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	厚生労働省ホームページ H17年3月27日	“牛海綿状脳症(BSE)確定診断の結果について平成17年3月27日に「牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議」委員による検討の結果、牛(平成17年3月24日処理;雄;ホルスタイン;108ヵ月令;飼育地は北海道天塩町)がBSEであるとの結論を得たことについて。
											BSE	ProMed20041231-0020(Canadian Press)	カナダ食品検査局は、BSE疑い症例が検知されたと発表。食品検査局では、予備的な検査結果は、12月29日に判明したとし、検査は問題の個体が歩行困難と確認されたのを受けて実施されたと加えた。今回の検査結果は最終的ではなく、同局は、複数のスクリーニング検査で陽性反応が得られたが、陽性となった個体の組織は、ヒトの食糧や家畜の肥料としては使用されていないとしている。
											BSE	ProMed20050103-0020(カナダ食品検査局)	疑い動物でBSE感染の診断確定、調査が進行中。カナダ食品検査局(CFIA)は本日[2004年1月2日]、アルバータ州の高齢の乳牛が検査で牛海綿状脳症(BSE)陽性となったことを確認した。感染が確認された個体は、1997年の飼料規制導入以前の1996年に誕生した。このウシは、飼料規制以前に汚染された飼料から感染したと考えられている。BSE確定症例のいかなる部分も、ヒトおよび動物飼料の食物連鎖環に入っていない。この発見は、食品安全上の危険性増加にはあたらない。
											BSE	ProMed20050109-0020(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050112-0020(CFIA)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050126-0070(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20041119-0010 (Associated Press)	新たなBSE疑い例。農務省当局は11月18日、米国で2例目となるBSE症例が確認される可能性がでたと発表。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											結核	ProMed20050208-0070 (ネブラスカ州農業局)	最近ネブラスカ州で発見された牛結核(TB)症例(屠殺時陽性確認)の調査に積極的な取り組み。
2005/4/27	50126	セローノ・ジャパン株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	下垂体性性腺刺激ホルモン	人尿	中国	有効成分	有	無	無	デング熱	ProMed20041102-0010(China Economic Information Service)	中国東部の省で発生しデング熱流行は制圧された。
											デング熱	ProMed20041119-0050(新華通信)	今月(2004年11月)51歳女性がデング熱に罹患したことが発見され、今年(2004年)マカオにおける2例目のデング熱患者となった。
											デング熱	ProMed20050118-0030 (香港衛生署)	香港衛生署の健康保護センター(CHP)は、デング熱輸入患者1名を確認し、市民に対しデング熱について注意を喚起した。
											髄膜炎感染	ProMed20050202-0010(厚生労働省検疫所海外感染症情報2005年2月2日)	中国安徽省当局副責任者は2005年1月29日に、髄膜炎菌性髄膜炎の深刻な流行が省内の少なくとも5郡/市(Wuhu, Chuzhou, Anqing, Chaohu, およびHefei)で発生していると発表した。この感染症は、省内の別の地区にも拡大しているようである。
											髄膜炎感染	ProMed20041113-0060(厚生労働省検疫所海外感染症情報2004年11月13日)	中国安徽省髄膜炎菌性疾患について。2005年1月31日中国保健省(MOH)報告によると、髄膜炎菌性疾患の流行が中国東部安徽省の11都市で発生している。2004年12月20日から2005年1月30日にかけて死亡患者6名を含む62名の患者が報告されている。患者の大部分は髄膜炎菌 Neisseria meningitidis血清型C型により発生している。主に年齢13歳から18歳の学童が感染していることが報告されている。MOHは流行に対応して、全地域保健局に対して監視の強化と、ワクチン予防接種や患者との密接な接触者に対する予防的抗生物質投与などの予防感染制御対策の強化を指示した。MOHによれば中国における前回の髄膜炎菌性疾患流行は血清型A型により発生した。1984年以降政府は小児に対して血清型A型に対するワクチンを供給している。現在血清型A型とC型に対する予防効果のある2価ポリサッカライドワクチンが供給されている。
											呼吸器疾患	ProMed20041113-0060 (厚生労働省検疫所感染症情報 2004年11月13日)	香港医療センターでの小児における呼吸器感染症流行。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											呼吸器疾患	ProMed20041116-0010(厚生労働省検疫所感染症情報2004年11月16日)	香港ケアセンターでの原因不明の感染症流行で、新たに2名が感染。Caritas医療センターの小児で発生している原因不明の感染症流行の病原体は、まだ同定されていないものの、新型のものではない可能性が高いと保健当局責任者York Chow氏が述べた。SARSではないと確認した。
											呼吸器疾患	ProMed20041118-0030(厚生労働省検疫所感染症情報2004年11月18日)	香港ケアセンターでの原因不明の感染症流行で、新たに2名が感染。Caritas医療センターの小児で発生している原因不明の感染症流行の病原体は、まだ同定されていないものの、新型のものではない可能性が高いと保健当局責任者York Chow氏が述べた。SARSではないと確認した。
											ブルセラ症	ProMed20041223-0010(厚生労働省検疫所海外感染症情報2004年12月23日)	中国保健省は、ブルセラ症制圧のため対策を強化。北京にある中国保健省は2004年12月17日に、中国が「深刻な：ブルセラ症流行に直面しており、同国が更なる感染拡大を抑制するため対策を強化している」と発表した。保健省は同声明の中で、「中国政府は、2004年前半に、ブルセラ症患者5,753名を記録したが、これは2003年の年間の患者数に近似している。
											ブルセラ症	ProMed20041225-0010(厚生労働省検疫所海外感染症情報2004年12月25日掲載)	2004年10月下旬に中国保健保護局ではブルセラ症患者を検査により確定していた。
											ペスト	ProMed20041102-0020(厚生労働省検疫所感染症情報 2004年11月2日)	死亡患者を出した青海省でのペスト流行は制圧された。農村部の住民8名が死亡した中国北西部でのペスト流行は、制圧されたと報告されている。患者の大部分が、野生のマーモットを殺傷したり、食べてペストに罹患した農夫や牧夫であった。しかし、Nangqen郡で発生した数例の原因は調査中である。
											レプトスピラ症	ProMed20040929-0080(News-Medical.net)	2004年8月、香港で新たに2名のレプトスピラ症患者確認。
2005/4/27	50127	ZLBベーリング株式会社	人免疫グロブリン	人免疫グロブリン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/27	50128	ZLBベーリング株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	アンチトロンビン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	製造工程	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50129	ZLBベーリング株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	トロンビン末	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50130	ZLBベーリング株式会社	人血液凝固第XIII因子 フィブリノゲン加第XIII因子	人血液凝固第XIII因子	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50131	ZLBベーリング株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	フィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/27	50132	ZLBベーリング株式会社	抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有	有	無	人畜共通感染症	International J of hematology 2004;80:301-5	米国において、献血の各種の安全対策に関する総説論文。献血の安全対策を実施した結果、HIVとHCV感染は減少しているが、新興感染症であるシャーガス病、バベシア症、マラリア、WNVとcCJDに注意しなくてはならない。
2005/4/28	50133	デンカ生研株式会社	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	トリプシン	ブタの膵臓	製造中止	製造工程	有	無	無	E型肝炎	ウイルス 2004;54(2):243-8	豚、猪、鹿の膵臓からHEVが検出されており、E型肝炎発生原因を考えられる。
2005/4/28	50134	デンカ生研株式会社	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	GL37細胞	アフリカミドリザルの腎細胞由来	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50135	デンカ生研株式会社	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	RNase I	ウシの膵臓	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/28	50136	デンカ生研株式会社	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	RNase A	ウシの膵臓	製造中止	製造工程	無	無	無			